

日本酒離れを30年も前から察知し、改革を起こし続けてきた山形県。流行や味に留まらない山形酒の魅力を絶えず発信、挑戦し成長してきました。

第1部のセミナーでは数値化された様々な分析から山形酒の現状を深く知り、また地理的表示GIの取得・発泡酒といった新たな日本酒の開発秘話などをお話し頂きます。

県内49ある蔵元の歴史や、世界流通、新たな展開の状況などをご紹介頂きます。

第2部では、山形県工業技術センター様より令和2年6月にオープンした「IoTイノベーションセンター」と工業技術センターの主な取組みについてご紹介頂きます。

データから見える
日本酒の現状

モノづくりネットワークセミナー

コロナ禍に
おける

山形県産
酒の
特徴

令和2年度 商工支援団体ブロック内連携事業

2021

2/9 火

16:00~17:45

場 所 山形グランドホテル
2階「サンリヴァ」

定 員 50名 ※定員超過の場合ご連絡を
差し上げます。

申込締切 2月5日(金)

※新型コロナウイルス感染防止のためマスクの着用および
当日会場での検温にご協力願います。

受講料
無 料

講
師

山形県酒造組合特別顧問(山形大学農学部客員教授)
元 山形県工業技術センター 生活技術部長(兼)酒類研究科長・所長

こ せ き と し ひ こ
小関 敏彦 氏

新潟大学農学部を卒業後、1980年より山形県工業技術センターに勤務し、酒類研究科長を勤めるなど山形県の「酒」の発展に携わってきました。1999年にはオリジナルの酵母を開発して造った「山形清々」というお酒が認められ、財団法人日本醸造協会の伊藤保平賞を受賞。県内の酒造メーカーと共に酒質の向上に努め、積み重ねる研究の中心的存在です。

〈主催〉山形商工会議所工業部会 〈共催〉天童商工会議所工業部会、山形県工業会村山支部
〈後援〉上山市商工会、山辺町商工会、中山町商工会



コロナ禍における
山形県産

酒の特徴

講師

山形県酒造組合特別顧問(山形大学農学部客員教授)
元 山形県工業技術センター
生活技術部長(兼)酒類研究科長・所長

こ せき とし ひこ
小関 敏彦 氏

プロフィール

昭和31年 3月9日生まれ
昭和53年3月 新潟大学農学部農芸化学科卒
約2年間の民間会社勤務
昭和55年4月 山形県工業技術センター勤務
(酒類関係部門)
生活技術部長(兼)酒類研究科長
平成27年 山形県工業技術センター 所長
平成28年3月 山形県工業技術センター退職
平成28年4月 山形県酒造組合特別顧問

「IoT イノベーションセンターを中心とした ものづくり支援の取組み」

講師

山形県工業技術センター 副所長 **松本 和久 氏**

お問い合わせ
お申し込み

山形商工会議所

〒990-8501
山形市七日町 3-1-9 (担当: 経営支援課)

TEL: 023-622-4666
FAX: 023-622-4668

天童商工会議所

〒994-0013
天童市老野森 1-3-28

TEL: 023-654-3511
FAX: 023-654-7481

山形県工業会村山支部

〒990-8580
山形市城南町1-1-1 霞城セントラル13階

TEL: 023-647-0662
FAX: 023-647-0667

参加申込書にご記入の上、各所属団体または山形商工会議所(FAX: 023-622-4668)までお申込みください。

参加申込書

事業所名		業 種	
住 所	(—)	TEL	
		FAX	
参加者氏名		役 職	
1.			
2.			
参考とさせていただくため、貴社が会員となっている団体に ☒ を付けてください。 ☐ 山形商工会議所 ☐ 上山市商工会 ☐ 天童商工会議所 ☐ 山辺町商工会 ☐ 山形県工業会村山支部 ☐ 中山町商工会			

※当該情報は主催団体等の各種連絡・情報提供のために利用するほか、セミナー参加者の調査等に利用することがあります。

※定員超過の場合ご連絡を差し上げます。

●新型コロナウイルス感染防止のためマスクの着用および当日会場での検温にご協力願います。